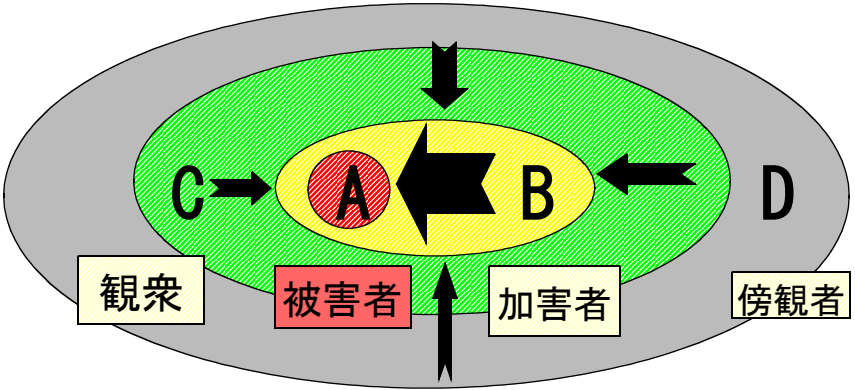


いじめの理解（基本的認識）

いじめの4層構造



A=被害者…いじめられている生徒
 B=加害者…いじめている生徒
 C=観衆…いじめをはやし立て、おもしろがっている生徒
 (いじめを強化する存在)
 D=傍観者…見て見ぬふりをしている生徒 (いじめを支持する生徒)

いじめの背景

学校における要因

- ・教師と生徒の信頼関係、生徒相互の人間関係が築けない
- ・他者を思いやる心や規範意識が育っていない
- ・教育活動が生徒の満足感や達成感を味わえるものになっていない

生徒の心理

- ・ストレスが身体状態、行動面に表れやすい
- ・不安やイライラ、無気力、抑うつなどの心理状態に陥る
- ・自尊心の傷つきを暴力、いじめで癒す

地域社会における要因

- ・地域における人間関係の希薄化により教育力が低下している
- ・集団遊びや社会活動への参加の機会が減少し、社会性や協調性が育ちにくい
- ・夜型社会により深夜徘徊や問題行動が誘発されやすい環境である

家庭における要因

- ・基本的生活習慣の躰が不十分
- ・家庭が「安らぎの場」になっていない
- ・親子の間にふれあいや心の通い合う場面がない
- ・経済的に苦しく、子どもに気がまわらない

いじめの種類

暴力

- ・殴る、蹴る、小突く、つねる
- ・頭髪を引っ張る
- ・プロレスごっこに見せかけ痛めつける
- ・足を引っかけて転ばす
- ・周囲を囲みズボンや下着を下げる 等

たかり

- ・物品や金銭を強要する
- ・食べ物をおごれと強要する
- ・家から金銭を持ち出すように命じる
- ・万引きするように命じる
- ・物品の交換を強要する 等

言葉の暴力（冷やかし等）

- ・あだ名や悪口を言う
- ・「〇〇死ね」という
- ・やじる、はやし立てる
- ・ヒソヒソ話をする
- ・「キモイ」、「うざい」、「殺す」と言う等

嫌がらせ

- ・嫌がることをあえてする
- ・持ち物にいたずら、落書きをする
- ・こわす、隠す、机を離す 等

言葉での脅かし

- ・「チクルとただでは済まんぞ」と言う
- ・「ひどい目に遭わせるぞ」と言う
- ・言われたくないことを何度も言う 等

仲間外れや集団による無視

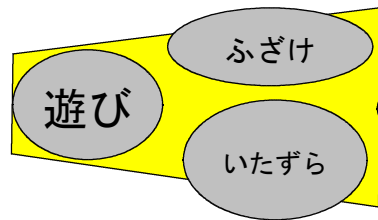
- ・相手にしない
- ・知らんぷりをする
- ・話しかけない、口をきかない
- ・遊びや運動仲間に入れない
- ・話し合いに入れない
- ・近くに寄らずに避ける
- ・にらみつける 等

その他

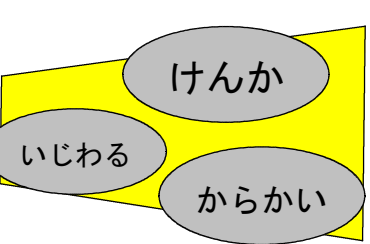
- ・用足し、着替え、食事の際にのぞき込む
- ・用事を言いつけ、相手を酷使する
- ・言いがかりをつけ、不快な表情をする
- ・パソコンやスマホで誹謗中傷をする

いじめの進行

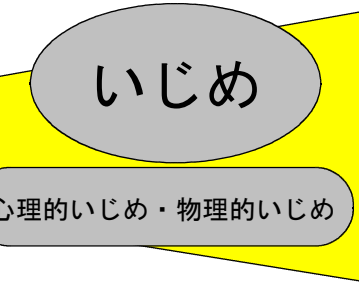
第1段階



第2段階



第3段階



いじめ…いじめる側が一方向的に仕掛ける。執拗に繰り返される。いじめる側は傷つかない
 けんか…ほぼ対等な関係で、勝ったり負けたりがある
 ふざけ…双方が親しい関係にあり、相手を傷つけるようなダメージを与えることはない

